# STZ-DR20J

通信型ドライブレコーダー

# 取扱説明書

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明のとおり 正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」 (P.7~ P.12)は、必ずお読みいただき 安全にお使いください。

本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。



### 万一の事故等、もしものときは!!

必要な録画 / 記録ファイルが上書きされないように、本機の電源をオフにして microSDカードを取り出してください。(→ P.30)

© 2023 JVCKENWOOD Corporation

B5A-4231-00

# 目次

ドライブレコーダー機能ガイド	З
セットアップ機能について	З
録画機能について	З
運転支援機能について	
付属品	6
安全上のご注意(必ずお守りください)	7
使用上のご注意	13
取り付けについて	13
ご使用について	13
本機のお手入れについて	14
イベント発生時の動作について	14
システムの自動更新について	14
内蔵電池について	14
電波について	15
各部の名称とはたらき	17
取り付けかた	19
取付手順	19
取り外すときは	20
推奨取付位置	21
配線のしかた	24
ソケット用ケーブル(付属品)の接続	24
内部配線用ケーブル(付属品)の接続	26
運転支援機能を使用する前に	27
車両に合わせて調整する	27
本機の電源のオン/オフについて	30
microSDカードについて	31
本機で使用するmicroSDカードについて、	31
microSDカード使用上のご注意	31
microSDカードを入れる	32
microSDカードを取り出す	33
microSDカードを初期化する	34

録画する	35
常時録画	35
イベント記録	35
イベント静止画記録	36
手動録画	36
駐車時異常録画	37
録画画面のインジケーター	38
再生する	39
ファイルを再生する	39
動画再生画面のインジケーター	40
ファイルを手動でサーバーに送信する	41
設定を変更する	42
MENUで操作する	42
パソコンで再生する	44
ファイル/フォルダ構成	44
故障かな?と思ったら	45
付録	48
運転支援機能について	48
モニター画面について	48
測位衛星(GPS、GLONASS(グロナス)、みちび	き)
の受信について	48
LTE通信について	48
商標、ソフトウェアに関する重要なお知らせ	49
主な仕様!	50
ソフトウェアに関する重要なお知らせ!	51
本製品のソフトウェアライセンスについて	51
インカメラ(別売)の接続について!	52
リアカメラ(別売)の接続について!	57
カー I/F アダプタ(別売)の接続について	61
アフターサービス	64
修理に関するご相談は	64
修理を依頼されるときは	64
商品に関するお問い合わせ窓口	64

本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。ご契約の運用事業者の設定によって、実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。

# ドライブレコーダー機能ガイド

本機は、microSDカードに映像を記録保存します。 必ずmicroSDカードを挿入してからお使いください。

## セットアップ機能について

本機は電源を最初に入れたときにセットアップメニューが表示されます。 メニュー画面の指示にしたがって設定を行うことで、取り付けに関する基本的なセットアップが完了します。 MENU画面からも同様にセットアップ機能で設定を行うことができます。(→ P.42)

## 録画機能について

常時録画 : 本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。

 常時録画	(→ P.35)	
運転中(画面	i中央に「● 録画中」 表示が出ている間 ) の映像を録画します。	
GO	常時録画	

イベント記録 : 運転中に車両に大きな衝撃が加わった場合や運転警告アラートが発生した場合に その前後の映像を記録します。



手動録画 : 常時録画中に手動録画ボタンを1秒以上長押しすると、その前後の映像を録画します。



駐車時異常録画 : 駐車場などに車を停めてエンジンをオフにすると駐車時異常録画が待機中になり、 車両に衝撃を検知すると駐車時異常録画を開始します。



#### ■ 録画ファイルの上書き保存について

録画ファイルは、常時録画、イベント記録、手動録画、駐車時異常録画に分けて保存しています。 microSDカード内のそれぞれの保存領域がなくなると、録画日時の古いファイルから上書きして 録画します。

— お知らせ—

MENU画面の表示中は、常時録画、イベント記録、手動録画はできません。

## 運転支援機能について

本機は、運転している際、前方の車に近づきすぎたときや走行車線をはみ出したときなどに アラートでお知らせします。

付録の「運転支援機能について」 (→ P.48) も併せてご覧ください。

アラート名称	概要
前方衝突アラート	走行中に前方車両と衝突の危険があると判断したときに お知らせします。
車線逸脱アラート	走行中に車線を逸脱したときにお知らせします。 逆光、雨天、走行レーンの汚れなど、条件によっては正しく 動作しないときがあります。
発進遅れアラート	自車と前走車との距離が遠くなったときにお知らせします。
車間距離不足アラート	自車と前走車との距離が近くなったときにお知らせします。
急加速・急減速	急加速・急減速と判断したときにお知らせします。
ハンドリング	急なハンドル操作と判断したときにお知らせします。
ふらつき	運転中のふらつきと判断したときにお知らせします。
速度超過	速度超過と判断したときにお知らせします。
走行時間	長時間走行と判断したときにお知らせします。
信号違反検知警告	信号違反と判断したときにお知らせします。
車間距離不足(後方)	自車と後走車との距離が近くなったときにお知らせします。

※ 運転支援機能の設定は、運用事業者により異なります。

付属品

本機の取り付け、配線、ご使用の前に、すべての付属品が入っていることを確認してください。 (※)の付いている付属品は、ご注文時の構成により内容が異なります。ご注意ください。

取付ブラケット×1 DCアダプタ×1 (両面テープ付き) (内蔵電池付き) DCアダプタケーブル (5m) × 1 (※) ソケット用ケーブル (2m) × 1 (※)内部配線用ケーブル(1m)×1 FIRM 専用 (特殊ネジ) ドライバー×1 専用クリーナー × 1 ケーブルクリップ × 10 ドライブレコーダー microSDカードカバー×1 DCアダプタ固定用 取付時の注意事項×1 面ファスナー×1 USBホルダー×1 (※) microSDカード×1 ・ケースに入っている小さ い方がmicroSDカード です。大きい方はパソコン ・カー I/F アダプタ(別売)を 等で録画ファイルを再生す 接続する場合に使用します。 るときなどに使用するSD

カード変換アダプタです。

# 安全上のご注意(必ずお守りください)

お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ず お守りいただくことを説明しています。

# 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

\land 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される 内容を示しています。
▲ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
▲ 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が 想定される内容を示しています。
/// 注意	想定される内容を示しています。

#### ■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。



#### ●免責事項について

この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によってお客さま、また は第三者が受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責 任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

#### ●著作権について

- ・個人が楽しむ場合であっても、場所または対象者によっては、権利者に無断で録画・撮影・録音することができない場合があります。
- ・録画・撮影・録音することが権利者によって許可されている場合でも、個人で楽しむ視聴以外の利用 が許可されていない場合があります。

# 取り付けや配線について

# ▲ 警告

$\bigcirc$	本機はDC12V/24V⊖アース車以外で使用しない 火災や故障の原因になります。DC12V/24V⊖アース車以外で使用しないでください。
$\oslash$	エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない エアバッグの誤動作やエアバッグでドライブレコーダーが外れて、死亡事故やケガの原因と なります。エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業上の注意事項を確認 してください。
$\bigcirc$	<b>視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない</b> 交通事故やケガの原因になります。
$\bigcirc$	<b>取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトや ナットを絶対に使用しない</b> 交通事故やケガの原因となります。
$\bigcirc$	本機は保安基準の取付許容範囲外に取り付けない 視界不良や本機が外れて、事故の原因となります。
0	取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する 取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線 をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。
0	説明書に従って取り付け ・ 配線をする 火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。
0	作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する 車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しない よう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となり ます。
0	<b>必ず付属の部品や指定の部品を使用する</b> 機器の損傷や確実に固定できずに外れて事故や故障、火災の原因となります。
0	ケーブル類は、運転を妨げないように引き回し固定する ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。
0	<b>車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないように配線する</b> 断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
0	ケーブルの被覆のない部分はテープなどで絶縁する 被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。
0	取り付け・ 記線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウィンカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態 で使用すると、火災や交通事故の原因となります。
0	ネジなど小物部品やmicroSDカード、はがした剥離フィルムは乳幼児の手の届かない ところに置く 誤って飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談 してください。





⚠ 注意

**水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない** 水や油煙等が入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

#### 本機の通風口をふさがない

本機の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

#### ケーブル類の扱いに注意する

ケーブルを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱 機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因とな ることがあります。

# 使用方法について

▲警告

<b>公開</b> 分解禁止	本機および付属品を分解・修理・改造しない 分解・修理・改造、ケーブルの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。また、本製品の改造や改造した機器を使用 した場合は、電波法および電気通信事業法違反になります。
$\bigcirc$	<b>音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない</b> 車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
$\bigcirc$	機器内部に、水や異物を入れない 金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の 原因となります。また、故障の原因となりますので、飲み物などが機器にかからないように ご注意ください。
$\bigcirc$	<b>故障や異常な状態のままで使用しない</b> 画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする等の 場合は、直ちに使用を中止し、安全に注意してDCアダプタケーブルを本機から抜いてください。 事故や火災、感電の原因となります。
$\bigcirc$	運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したり、本機を取付ブラケットから取り 外したりしない 必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。 交通事故の原因となります。
	<b>雷が鳴り出したら、本機やDCアダプタ、DCアダプタケーブル、ソケット用ケーブル (または内部配線ケーブル)には触れない</b> 落雷による感電の原因となります。
0	電源プラグを抜き差しするときは、アクセサリーソケット内にほこりや異物がないことを確認する ショートにより火災や感電、故障の原因となることがあります。
0	本機を車両に取り付けた後、車両から取り外して保管する場合は、安全のために次の作業を行う - DCアダブタケーブルを本機から抜く - ソケット用ケーブル(または内部配線ケーブル)とDCアダプタケーブルをDCアダプタから抜く 上記の作業を行わないと発煙、発火、ケガ、感電などの原因となるおそれがあります。
0	<ul> <li>使用中、充電中、保管中に、異音・異臭・発煙・発熱・変色・変形などの異常がみられた場合は、直ちに使用を中止する</li> <li>本機の電源がオンになっている場合は、電源をオフにするために、安全に注意して、次の作業を行ってください。</li> <li>車両のエンジンをオフにする</li> <li>DCアダプタケーブルを本機から抜く</li> <li>ソケット用ケーブルの電源プラグをアクセサリーソケットから抜く</li> <li>ソケット用ケーブル(または内部配線ケーブル)とDCアダプタケーブルをDCアダプタから抜く</li> <li>上記の作業を行わないと火災、やけど、ケガ、感電などの原因となります。</li> </ul>
$\bigcirc$	<b>本機を車載以外で使用しない</b> 発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

▲ 注意

本機や取付ブラケット、DCアダプタケーブル、DCアダプタ、ソケット用ケーブル (または内部配線ケーブル)が破損した場合は、破損したまま使用しない 本機の脱落、落下などにより、ケガや交通事故の原因となることがあります。また、発煙や

発火、感電の原因となることがあります。

#### 走行前に本機の取付状態を点検する

本機の脱落、落下などにより、ケガや交通事故の原因となることがあります。

## 内蔵電池について(本機やDCアダプタは充電式電池を内蔵しています)

内蔵電池の取り扱いに注意してください

# ⚠ 危険



#### 内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけない 視力障害や皮膚に炎症などを起こす原因となります。内部の物質が顔や手などの皮膚や 衣類などに付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に

#### 内蔵電池内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに 医師の診療を受ける

内蔵電池内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。





#### 内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から 遠ざける

漏洩した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。





#### 本機やDCアダプタを落としたら使用を中止する

本機やDCアダプタを落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している おそれがあります。使用を中止し、本機やDCアダプタの点検・修理を依頼ください。 そのまま使用すると、火災、やけど、ケガ、感電などの原因となります。

# ⚠ 注意

本機やDCアダプタは内蔵電池を使用しているため、一般のゴミと一緒に捨てない

火災、やけど、ケガなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。

不要となった本機やDCアダプタの廃棄に関しては、以下の「内蔵電池のリサイクルについて」 をご覧ください。

## 内蔵電池のリサイクルについて



本機やDCアダブタに内蔵されている内蔵電池は、リサイクルできます。 内蔵電池の取り外しは、お客さま自身では行わないでください。

不要となりましたら、お問い合わせ窓口までご連絡ください。

# 医用電気機器近くでの取り扱いについて

# ▲ 警告



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されて いる場合は、装着部から本機を15cm以上離して使用する 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

# 異常時のお問い合わせ

▲ 警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお問い合わせ窓口に連絡する そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

#### 本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(→ P.45)を参照して解決方法がないか お調べください。

解決方法が見つからないときは、DCアダプタからDCアダプタケーブルの抜き差しをして、本機を再起 動してください。(→ P.30 参照)

再起動しても正常に戻らないときは、お問い合わせ窓口までご連絡ください。

<u>本機はGPS機器を搭載しています。</u> 取得する走行データには、位置情報が含まれます。

# 使用上のご注意

## 取り付けについて

- ・運転視界や安全上支障をきたさないフロントガ ラスの上部からフロントガラス全体の20%の範 囲で、運転者の前方視界を妨げず、ルームミラー と干渉しない位置に取り付けてください。
- ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けて ください。
- ・ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 車検証ラベルなどに重ならないように取り付けて ください。
- ・運転やエアバッグ動作の妨げにならないように 取り付けてください。
- 本機を運転支援システム搭載車に取り付ける ときは、車両の取扱説明書を確認して運転支援 システムの妨げにならない場所を選んで取り付 けてください。
- ・誤った取り付けをした場合は、イベント記録、運転支援機能が正しく動作しないことがあります。
   取付方向、取付角度など「取り付けかた」(→
   P.19)を参照して本機を正しく取り付けてください。
- DCアダプタケーブルやソケット用ケーブル(また は内部配線ケーブル)などの配線をラジオアンテ ナ付近で行うと、ラジオの受信感度の低下やノイ ズの原因となる可能性があります。
- ・本機や本機の配線をGPSアンテナ、地上デジタ ルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに 取り付けおよび配線をしないでください。受信感 度の低下やノイズの原因になる可能性がありま す。(GPSアンテナからは 5cm以上を目安に離 してください。)
- ・付属の専用クリーナーまたは市販のクリーニン グクロスにエタノールをしみこませたもので取 付場所の汚れや脂分をきれいに拭き取り、乾いた ことを確認してから取り付けてください。
- 取付ブラケットを取り付けの際に両面テーブの接着面に手を触れないでください。粘着力が低下する可能性があります。

- ・再貼付けや汎用の両面テーブなどで貼り付ける と接着強度が弱くなり、はがれ落ちるおそれがあ ります。
- ケーブル類は運転操作の妨げにならないように
   ケーブルクリップで固定するか、市販のソフトテ
   ープなどでまとめてください。
- ケーブルクリップは取付場所の汚れや脂分を付 属の専用クリーナーまたは市販のクリーニング クロスにエタノールをしみこませたものできれ いに拭き取り、乾いたことを確認してから固定し てください。
- 取付ブラケットをフロントガラスに貼り付けた後、
   取付ブラケット単体で24時間以上放置してください。
   技着強度が安定します。
- 取付ブラケットを貼り付け後にフロントガラスを 拭く場合は、両面テープに水分やガラスクリー ナーなどのスプレーがかからないように注意し、 貼り付けてから10分以上放置後に行ってください。

### ご使用について

- ・本製品は車両の走行状況を記録するための機器 です。
- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの 近くに反射物を置かないでください。
- LED信号機を撮影した場合、信号機がちらついたり点滅しているような映像が録画される場合があります。また信号機の識別や録画に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用 されている場合は、録画品質に影響が出る可能 性があります。
- フロントガラスが電波を通さないガラス(熱反射 ガラスや断熱ガラス)の場合GPSの受信感度が 低下します。
- ・本機はあらゆる状況においての映像の録画を保 証するものではありません。
- 本機やmicroSDカードに異常が発生していない かの確認を含め、正常に記録されていることを定 期的に確認してください。

- ・本機の電源がオンになったときに、エラーメッセ ージが表示されていないか必ず確認してください。
- 高温、低温でのご使用は、誤動作や故障の原因 になります。夏季は車内が高温になることがあり ますので、窓を開けるなど車内の温度を下げて からご使用ください。
- ・ご使用前に、取付ブラケットの接着面が貼り付け た面からはがれていないかを確認してから、ご 使用ください。
- アクセサリーソケットの分配器は使わないでくだ さい。分配器を使うと仕様を満たさない場合が あります。
- ・本機やDCアダプタ、DCアダプタケーブル、ソケット用ケーブル、内部配線用ケーブル、SDカードは防水性能を有しておりませんので、湿気の多い場所や雨などのかかる場所でのご使用はおやめください。

### 本機のお手入れについて

- ・本機(カメラのレンズを除く)が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- ・カメラのレンズが汚れている場合には、水を含 ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた 布で強くこすると傷の原因になります。

### イベント発生時の動作について

・本機は大きな衝撃が加わった場合や運転警告ア ラートが発生した場合に、走行情報や映像などを サーバーに自動的に送信します。ただし、衝撃の 大きさによっては交通事故でもイベントと認識さ れない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

### システムの自動更新について

 本製品には、起動時に自動でシステムを更新する 機能があります。更新用ファームウェアは自動で ダウンロードされ、ダウンロード後に起動したとき 「システム更新を開始します。」と音声が流れて自 動的に更新を開始します。数分後に再起動して

「システムを更新しました。」と音声が流れると更 新完了です。

更新中は、常時録画、イベント記録、手動録画、本 体のボタン操作などはできません。システム更新 は、お客さまに操作をしていただく必要はありま せんが、使用できるまでに時間がかかることをあ らかじめご了承ください。また、更新中は本機の電 源をオフ(車両のエンジンをオフ)にしないでくだ さい。

#### 内蔵電池について

- ・本機は時計のバックアップをするためMSリチウム 二次電池を内蔵しています。
- ・お届け時は電池が十分に充電されていません。 時刻がリセットされるときは、本機の電源を1~2 時間オンにして充電してください。
- ・周囲温度が一20℃~45℃の場所で充電してく ださい。上記範囲以外の温度では、十分に充電さ れない場合があります。
- エンジンを回転させない状態(ACC ONのみの 状態)で、充電はしないでください。自動車のバッテ リー上がりの原因となります。

### 電波について

- ・本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解・改造すること
  - 本機に貼ってあるラベルをはがすこと

周波数帯について

・本機の周波数表示と意味は下記のとおりです。

無線LAN		Bluetooth	
2.4DS/0F4		2.4FH2	
2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器		帯を使用する無線機器です。	

DS/OF :変調方式がDS-SS, OFDMであることを示します。

FH :変調方式がFH-SSであることを示します。

- 4 : 電波与干渉距離は 40m以下です。
- 2 :電波与干渉距離は 20m以下です。
  - - : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

#### 2.4GHz 機器使用上の注意事項

・2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の機器も同じ周波数帯を使っていることがあります。 ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項にご注意してご使用ください。

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・化学・医療機器のほか工場の製造 ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力 無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されて います。

・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマ チュア無線局が運用されていないことを確認してください。。

# - ① 注意 -

 ・改造された本機は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は、電波法および電気 通信事業法に抵触します。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法 に基づく機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク ③」を 本機の画面に表示することができます。

技適マーク表示の操作方法

①ドライブレコーダーの電源を入れる。

②[MENU/OK] ボタンを押す。

③<MENU> ⇒ <システム基本設定> ⇒ <システム情報> ⇒ <認証情報> と選択する。

本機の分解をして内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。 技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触します ので、絶対に使用されないようにお願いします。

・基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。 ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

# 各部の名称とはたらき



# 各部の名称とはたらき

- カメラレンズ
- ② ブラケット取付部 付属の取付ブラケットを取り付けます。 本機を外すときは、レバーを押すとロックが解除 されます。
- スピーカー 音声ガイドや警告音、動画再生中の音声を出力 します。
- ④ DCケーブルコネクタ端子 (DC IN)
   付属のDCアダプタケーブルを接続します。
   接続時は、ケーブル保護カバー(蓋)を開けて
   接続し、ケーブル接続後は、ケーブル保護カバー(蓋)を閉めてください。
- ⑤ EXT. CAM端子 2 当社指定のリアカメラ(別売)を接続する端子 です。指定以外のカメラは接続できません。 接続時は、端子保護カバー(蓋)を取り外して ご使用ください。
- ⑥ EXT. CAM端子 1 当社指定のインカメラ(別売)を接続する端子 です。指定以外のカメラは接続できません。 接続時は、端子保護カバー(蓋)を取り外して ご使用ください。
- ⑦ USB端子(端子保護カバー(蓋)付き) microUSB Type-B 当社指定のカー I/F アダプタ(別売)を接続す る端子です。指定以外のカー I/F アダプタは 接続できません。接続時は、端子保護カバー (蓋)を開けて、ご使用ください。
- ⑧ microSDカードカバー
- ⑨ 通風口
- 10 モニター画面
- 手動録画 ボタン
   ボタンを1秒以上長押しすると、手動録画を開 始します。
- ② 戻るボタン
   メニュー表示中に押すと戻るボタンとして働きます。

- 13 REC インジケーター
  - ・電源オンから録画を開始するまで :青 点滅
  - ・録画中 :青 点灯
  - ・録画できない状態のとき :赤 点灯
  - ・駐車時異常録画の待機中 :赤 点滅(ゆっくり)
  - ・駐車時異常録画中 :赤 点滅
  - ・電源オフ:消灯
- ⑭ 照度センサー
- 15 通風口
- 16 ▲ ボタン
  - ・常時録画中に押すとスピーカーの音量をアップします。
  - ・メニュー表示中に押すと前の項目に移動します。
  - ・動画再生中に押すと次のファイルを再生します。
  - ・動画再生中に押し続けると早送り、一時停止中に 押し続けると正スロー再生をします。
- 1 MENU/OK ボタン
  - MENU画面を表示します。
  - ・メニュー表示中は決定ボタンとして働きます。 ※ 走行中はMENU操作はできません。
- 18 ▼ ボタン
  - ・常時録画中に押すとスピーカーの音量をダウンします。
  - ・メニュー表示中に押すと次の項目に移動します。
  - ・動画再生中に押すと前のファイルを再生します。
  - ・動画再生中に押し続けると早戻し、一時停止中に 押し続けると逆スロー再生をします。
- 19 microSDカードスロット

録画用のmicroSDカードを挿入します。

- (→ P.32) microSDカードが挿入されていないと、本機は
- 正常に動作しません。
- ② SIMカードスロット 通信用のSIMカードを挿入します。
- ව LED
  - DCアダプタのLED表示内容
  - ・充電中 :橙 点灯
  - ・充電完了 : 緑 点灯
  - ・警告 :赤 点滅

# 取り付けかた

## 取付手順

# 1. 本機を取付ブラケットに取り付ける

取付ブラケットを本機のブラケット取付部に 差し込み、カチッと音がするまでスライドさせ て固定してください。



#### 2. 本機の取付位置を決める

フロントガラスへの取り付けは、国土交通省の 定める保安基準(※)により取付位置が限定さ れています。

「推奨取付位置」のページを参考にして取付 位置を決めてください。

- 「乗用車の推奨取付位置」 (→ P.21)
- 「トラックの推奨取付位置」 (→ P.22)

取付位置を決めたら、本機を取付ブラケット から、いったん、取り外します。

- (※)保安基準
   道路運輸車両の保安基準 第29条
   (窓ガラス)、細目告示 第195条
- 3. 取り付ける面をきれいにして取付ブラケ ットをフロントガラスに貼り付ける 付属の専用クリーナーで取付場所の汚れや脂 分をきれいに拭き取ってください。汚れや脂分 が残っていると、両面テープの粘着力が落ちる 可能性があります。

拭いた場所が乾いたことを確認してから、取付 ブラケットの両面テープの剥離フィルムをはが し、フロントガラスに押し付けて、取付ブラケッ トを貼り付けます。



両面テープに空気が入らないように注意して、 上部から下部の方向にフロントガラスに強く押 し付けて貼り付けてください。

なお、取付ブラケットをフロントガラスに貼り付けた後、取付ブラケット単体で24時間以上放置することで、接着力が安定します。

#### 4. セットアップする

本機を取付ブラケットに取り付け直します。 DCアダプタケーブルとソケット用ケーブル (または内部配線ケーブル)をDCアダプタに接 続します。DCアダプタケーブル端子を本機に 接続し、ソケット用ケーブルの電源プラグをア クセサリーソケットに差し込みます。(内部配線 ケーブルを使用する場合は、内部配線ケーブル を車両に接続してください。)

車両のエンジンをオンにすると、本機の電源が オンになります。

本機を初めて使用する際は、セットアップ画面 が表示されますので、画面の指示に従ってセッ トアップを行ってください。

#### - お知らせ -

初回起動時以外などでセットアップの項目を 個別に調整するときは、「車両に合わせて調整 する」(→ P.27)を参照して調整します。

ケーブルを車両に配線する
 「推奨取付位置」(→ P.21)
 「配線のしかた」(→ P.24)
 を参考にして、ケーブルを配線してください。

#### 取付状態の点検について

走行前に本機の取付状態を点検してください。 以下の場合には、両面テープの接着状態が不十 分な可能性があるので、お問い合わせ窓口まで ご相談ください。

①取付ブラケットとフロントガラスの間に隙間が 空いている。(空気が入っている)

②取付ブラケットの角度固定ネジを持ち、軽く引 っ張った場合に取付ブラケットがぐらぐらする。
※ 必ずエンジンを切った状態で点検してください。

#### 取り付け時の作業環境について

<気温>

- 貼り付け作業時の環境温度は、15℃以上が 推奨です。気温が低い時期(気温15℃未満 の作業環境など)は、両面テープの柔軟性が 低下して、フロントガラス面と十分な粘着力 が得られない場合があります。
- 温度が低い場合は、ドライヤーまたは車のヒ ーターなどでフロントガラス面内側の貼り付 け部とドライブレコーダーの両面テーブ部を 暖めてから貼り付け作業を行ってください。
- 両面テーブ部を暖めるときに、ドライブレコー ダーを暖めすぎると破損する可能性があり ますので、両面テーブ部を暖めるときは、数秒 だけドライヤーまたは車のヒーターなどで 暖めてください。
- ドライブレコーダー本体やレンズ部には、ドラ イヤーまたは車のヒーターなどを使用しない でください。
- <湿気>
- フロントガラス表面の貼り付け部を乾燥させ てから貼り付けてください。
- ・ 室温に比べてフロントガラス表面温度が低い 場合は、結露によって水滴や湿気が付着しや すくなり、両面テープの粘着力が著しく低下 します。

取り外すときは

本機を取付ブラケットから取り外す場合 取付ブラケットのレバーを押し、ロックを解除の 状態にしたまま本機をスライドさせて、取り外してく ださい。

#### 取付ブラケットをフロントガラスから取り 外す場合

市販の樹脂製のへらを取付ブラケットとフロント ガラスの間に差し込み、ガラス面に傷をつけない ように少しづつ両面テーブをはかしてください。

### 推奨取付位置

## ■ 乗用車の推奨取付位置

- フロントガラスの上部から全体の20%の範囲内で、運転手の前方視界を妨げないルームミラーと 干渉しない位置に取り付けてください。
- ・ ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。



### ■トラックの推奨取付位置

- フロントガラスの上部から全体の20%の範囲内で、運転手の前方視界を妨げないルームミラーと 干渉しない位置に取り付けてください。
- ・ ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。





### ケーブル配線やDCアダプタの固定に関する注意事項

### - 🛆 注意

- DCアダプタケーブルをフロントピラーなどに通すときは、下記の点に注意して配線してください。
- ・DCアダブタケーブルは運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して、助手席側に取り付けてください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップ等で固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外 すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有 無など詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ・ケーブルクリップはフロントガラスには貼らないでください。
- ケーブルクリップは取付場所の汚れや脂分を付属の専用クリーナーまたは市販のクリーニングクロスにエタノールをしみこませたものできれいに拭き取り、乾いたことを確認してから固定してください。
- ・ケーブルクリップでケーブルが固定できないところは、市販のソフトテープなどでまとめてください。
- DCアダプタやケーブル等は、下記の点に注意して配線してください。
- ・DCアダブタケーブルやソケット用ケーブル(または内部配線ケーブル)が長すぎて余った場合は、グローブボックスの裏やフロアマット下の安全で邪魔にならない場所にまとめて固定してください。 このときに、テープ類や結束バンドなどを使用して確実に固定してください。
- DCアダプタは、助手席の下または助手席の同乗者が足で踏みつけることのない安全な場所に、付属の面ファスナーで固定してください。
- 防水性能を有しておりませんので、水や液体(飲料水、かさや靴から落ちる水、海水、汗、ペットの尿 など)が、かからない場所に設置してください。

# 配線のしかた

## ソケット用ケーブル(付属品)の接続

 DCアダブタ側面(下図の位置)に付属のケーブルクリップを2個、貼り付けてください。 INPUT および OUTPUT の表示は、DCアダプタのラベルに書いてあります。



 ソケット用ケーブルのヒューズ両端のケーブル(2本線の箇所)をケーブルクリップに 固定してください。

ソケット用ケーブルの赤と黒の2本線の箇所を矢印の方向からスライドして、ケーブルクリップに 挟んで固定します。

※赤と黒の2本線の箇所以外をケーブルクリップに挟んで固定しないよう、ご注意ください。



3. DCアダプタにソケット用ケーブルとDCアダプタケーブルを接続してください。 DCアダプタの INPUT に ソケット用ケーブル を接続します。 DCアダプタの OUTPUT に DCアダプタケーブル を接続します。



4. DCアダプタケーブルを本機に接続し、電源プラグをアクセサリーソケットに差し込んで ください。

配線する際に中継コネクタは使用しないでください。



- ・DCアダプタケーブル、DCアダプタ、ソケット用ケーブル(付属品)を分解・修理・改造しないでください。
- ・電源プラグを抜き差しするときは、アクセサリーソケット内にほこりや異物がないことを確認してください。

### 内部配線用ケーブル(付属品)の接続

\_ 🛆 注意 \_

接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため 必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

・配線する際に中継コネクタは使用しないでください。



# 運転支援機能を使用する前に

## 車両に合わせて調整する

イベント記録、運転支援機能を使用するために、本機 を取り付ける車両のタイプを選び、本機の取付位置や 取付角度、車両に合わせて地平線やボンネット先端の 位置を調整します。

見通し距離が200m程度ある水平な場所で実施して ください。

- ※ MENU画面の表示内容は、運用事業者の設定により、異なる場合があります。
- [MENU/OK] ボタンを押す MENUを表示します。



[▲]/[▼] ボタンを操作して<システム基本設定> を選択し[MENU/OK] ボタンを押す



 [▲]/[▼] ボタンを操作して<車両タイプ>を 選択し[MENU/OK] ボタンを押す



 [▲]/[▼] ボタンを操作してご使用の車に最も 近い車両タイプを選択し[MENU/OK] ボタン を押す



 [▲]/[▼] ボタンを操作して<取付位置>を 選択し[MENU/OK] ボタンを押す



 [▲]/[▼] ボタンを操作して本機の取付位置を 選択し[MENU/OK] ボタンを押す

車内から見て、本機を中央から15cm以内に設置したときは中央、中央から15cmより右側に設置したときは右、中央から15cmより左側に設置したときは右、中央から15cmより左側に設置したときは左を選択してください。





 [▲]/[▼] ボタンを操作して<設置ツール>を 選択し[MENU/OK] ボタンを押す



 [▲]/[▼] ボタンを操作して<水準器>を選択 し[MENU/OK] ボタンを押す



9. 本機の取付角度を調整する

動く円が、できるだけ画面中央に近づくように 本機の取付角度を調整し、調整が完了したら [MENU/OK] ボタンを押します。



推奨取付角度になると動く円が 緑色になります。



お知らせ

本機の取付角度を調整するときは、必ず角度 固定ネジを緩めてから行ってください。調整後は、 使用中に本機の角度が変わらないよう、角度 固定ネジをしっかり締めて固定してください。 ※ 角度固定ネジを緩めずに本機の取付角度調 整を行うと、取付ブラケットが破損すること があります。

**10.** [戻る] ボタンを1回押して<システム基本 設定>に戻る



 [▲]/[▼] ボタンを操作して<検出範囲>を 選択し[MENU/OK] ボタンを押す



12. [▲]/[▼] ボタンを操作してガイド線(白点線) を地平線に合うように微調整して[MENU/ OK] ボタンを押す

下図のように調整します。



このガイド線(白点線)を 地平線に合わせる。

13. [▲]/[▼] ボタンを操作してガイド線(白線) をボンネット先端の中央に合うように微調整 して[MENU/OK] ボタンを押す

下図のように調整します。



このガイド線(白線)を ボンネット先端に合わせる。



14. [▲]/[▼] ボタンを操作してガイド線(白線)が 走行車線遠方の中央に合うように微調整して [MENU/OK] ボタンを押す

下図のように調整します。



このガイド線(白線)を走行車線 遠方の中央に合わせる。

・調整が終了すると、システム基本設定の画面に 戻ります



15. [戻る] ボタンを2回押して終了する 常時録画画面に戻るまで、[戻る]ボタンを2回 押します。

# 本機の電源のオン/オフについて

● 電源のオンについて 車両のエンジンをオンにすると、本機の電源がオンになり常時録画が始まります。

● 電源のオフについて

車両のエンジンをオフにすると、駐車時異常録画の待機状態になります。 エンジンをオフにしても、充電されたDCアダブタから本機に電力が供給されていると、本機の電源は オフになっていません。

本機の電源をオフにするためには、必ずDCアダプタからDCアダプタケーブルを抜いてください。 (下図参照)



 一 注意

 ドライブレコーダーを長時間使用しないときは、電源プラグをアクセサリーンケットから抜いてください。
 ・車種によってエンジンを切ってもアクセサリーンケットに電気が供給されている場合があります。
 火災やバッテリー上がりの原因となります。

※ 駐車時異常録画の設定は、運用事業者により異なります。

### 本機で使用するmicroSDカードについて

タイプ	microSDHC microSDXC
容量	$8$ GB $\sim 256$ GB
スピードクラス	Class 10(ɑʌss⑥)推奨 V30以上推奨
ファイル システム	FAT32 exFAT

### microSDカード使用上のご注意

- microSDカードを入れる、または取り出すときは、 必ずDCアダブタからDCアダブタケーブルを抜いて、本機の電源をオフにしてください。電源が オンの場合、データやmicroSDカード自体が 破損するおそれがあります。(→ P.30 参照)
- microSDカードの初期化は必ず本機で行って から使用してください。
- ・microSDカードを入れた後は、正しく録画が できているか必ず確認してください。
- ・microSDカードには書き込み可能回数などの 製品寿命があります。使用状況に応じて定期的に 新品に交換することをお勧めします。
- ・microSDカードを着脱するときは、方向を確認し 折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えないでくだ さい。
- ・端子部分に直接手を触れたり、金属を当てたりしないでください。静電気により、記憶されているデータが破損、消失するおそれがあります。

 microSDカード内の必要なファイルは必ずパソ コンなどに早めのバックアップ(コピー)をして ください。

microSDカードの使用状況によっては、保存内容が 失われる場合があります。保存ファイルが失われ たことによる損害については、当社はその補償を 一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。 ・本機のmicroSDカード初期化や削除、パソコンの 機能によるフォーマットでは、ファイルの管理 情報が変更されるだけで、microSDカード内の データは完全に消去されません。使用を中止する 際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを 使ってmicroSDカード内のデータを完全に消去 することをお勧めします。microSDカード内の データはお客さまの責任において管理してくだ さい。

- ・microSDカードは消耗品です。故障や破損等の 理由により交換するときは、お客様ご自身でご用意 ください。
- ・microSDカードは普通に使用していても正常に 書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- ・本機は、microSDカードフォーマットフリー機能 を搭載しておりません。microSDカードは、約 1か月を目安として定期的に初期化してください。必要な録画ファイルがmicroSDカード内に ある場合は、事前にファイルをパソコンに保存 してください。
- microSDカードの上に物を置いたり落としたり、
   強い衝撃を与えないでください。また、清潔で
   乾燥した場所に保管し、高温高湿の場所で放置
   しないでください。

### microSDカードを入れる

- 本機の電源をオフにする エンジンをオフにして、必ずDCアダプタから DCアダプタケーブルを抜き(→ P.30 参照) 本機の電源がオフになるまで、20秒以上待 ちます。
- microSDカードカバーを取り外す 本機の電源がオフになったら、付属の専用 (特殊ネジ)ドライバーを使ってネジを緩め microSDカードカバーを取り外します。



microSDカードを入れる

microSDカードスロットにカチッと音がする までmicroSDカードを挿入します。microSD カードは下図と同じ向きに挿入してください。



### お知らせ

SIMカードスロットにmicroSDカードを誤挿入 すると本機を破損するおそれがあります。誤挿入 防止のため、microSDカードの挿入は、必ず SIMカードスロットにSIMカードが挿入された 状態で行ってください。

#### 4 microSDカードカバーを取り付ける

microSDカードを挿入したら、microSDカード カバーを本機のネジ穴の位置に合わせるように 取り付けます。その後、microSDカードカバーに あらかじめ付属しているネジを専用(特殊ネジ) ドライバーを使ってしっかりと締めてください。

#### - お知らせ

microSDカードがmicroSDカードスロットに 挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

### microSDカードを取り出す

エンジンをオフにして、必ずDCアダプタから DCアダプタケーブルを抜き(→P.30参照)、 20秒以上待って本機の電源がオフになってから microSDカードカバーを取り外します。microSD カードを押して、microSDカードがポップアップ したらmicroSDカードを引き抜きます。

### - お知らせ ―

本機の電源をオフにせずにmicroSDカードを 取り出すと、記録されたファイルが破損消失する ことがあります。

## microSDカードを初期化する

本機は、microSDカードフォーマットフリー機能を 搭載しておりません。microSDカードは、約1か月を 目安として定期的に初期化してください。 新しいmicroSDカードに交換した場合も同様です。

# - お知らせ -

- microSDカードの初期化を行うときは、必ず 本機で行ってください。
- microSDカードの初期化を行うと、すべての ファイルが消去されます。残す必要があるファ イルがあるときは、事前にパソコン等にバック アップしてください。
- 本機の電源をオフにして、microSDカード スロットにmicroSDカードを入れる
   (→ P.32 参照)
- [MENU/OK] ボタンを押す MENUを表示します。



[▲]/[▼] ボタンを操作して<システム基本設定>を選択し[MENU/OK] ボタンを押す



 [▲]/[▼] ボタンを操作して<SDカード初期化 >を選択し[MENU/OK] ボタンを押す



 [▲]/[▼] ボタンを操作して<はい>を選択し [MENU/OK] ボタンを押す microSDカードが初期化されます。



6. [MENU/OK]ボタンを押して終了する



# 録画する

### 常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。

- ・常時録画の最大録画時間は、使用するmicroSDカードの容量によります。
- ・常時録画ファイルは1分、または5分ごと分割して保存します。
- ・常時録画では、microSDカードの録画領域がなくなると古いファイルから上書きして常時録画を 続けます。
- ・MENU画面の表示中は、常時録画しません。

※ 常時録画ファイルの録画時間は、運用事業者の設定により異なります。

#### ■ 常時録画ファイルの保存場所

・microSDカード内の「NORMAL」フォルダに保存されます。(→ P.44)

## イベント記録

運転中に車両に大きな衝撃が加わった場合や運転警告アラートが発生した場合に、その前後の映像を 記録します。

- ・イベント記録中も常時録画は続いています。
- ・イベント記録が終了する前にさらに衝撃検知やアラートが発生しても、記録時間の延長はしません。
- ・イベント記録では、microSDカードの録画領域がなくなると古いファイルから上書きしてイベント記録を 続けます。

※ イベント記録の録画時間は、運用事業者の設定により異なります。



#### ■ イベント記録 録画ファイルの保存場所

・microSDカード内の「EVENT」に保存されます。(→ P.44)

#### — お知らせ —

- ・衝撃を検知しても、必ずイベント記録するわけではありません。
- ・実際の交通事故でも、衝撃の大きさによっては、事故と判断しない場合があります。

## イベント静止画記録

イベント記録の映像から、イベント静止画が作成されます。

※ イベント静止画の内容は、運用事業者の設定により異なります。

#### ■ イベント静止画 記録ファイルの保存場所

・microSDカード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。(→ P.44)

### 手動録画

常時録画中に手動録画ボタンを1秒以上長押しすると、その前後の映像を録画します。

- ・画面の左上に手動録画の残り時間が表示されます。
- ・手動録画ボタンを押した後になにもしないと、自動で手動録画を終了します。
- ・手動録画では、microSDカードの録画領域がなくなると古いファイルから上書きして手動録画を 続けます。
- ・MENU画面の表示中は、手動録画できません。

※ 手動録画の録画時間は、運用事業者の設定により異なります。



#### ■ 手動録画ファイルの保存場所

・microSDカード内の「EVENT」フォルダの中にある「MANUAL」フォルダに保存されます。(→ P.44)

### 駐車時異常録画

車両のエンジンキーをオフにすると駐車時異常録画が待機状態になり、車両の衝撃を監視します。車両の 衝撃を検知すると、電源がオンになり駐車時異常録画が開始されます。駐車時異常録画が終了すると電源 がオフになり、待機状態に戻ります。

- ・駐車中に車両に大きな衝撃が加わった後、10秒間の映像を録画します。
- ・解像度(録画画質)は設定にかかわらず、HD(1820×720)で保存されます。
- ・ 駐車時異常録画では、microSDカードの記録領域がなくなると古いファイルから上書きして駐車時異常 録画を続けます。

※1~※3は、運用事業者の設定により異なります。

- ※1 駐車時異常録画の録画記録は、ON/OFFを選択することができます。
- ※2 衝撃を検知する感度を5段階で設定することができます。
- ※3 乗車/降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、駐車時異常録画が動作することがあります。 乗車/降車時のドアの振動を検知しても駐車時異常録画を行わないようにするため、駐車時異常録画 を一定時間無効にすることができます。

開始時間(降車時)/停止時間(乗車時)は、30秒間/1分間/3分間から選択することができます。



#### ■ 駐車時異常録画ファイルの保存場所

・microSDカード内の「PARKING」フォルダに保存されます。(→ P.44)

#### - お知らせ -

- ・駐車時異常録画中はモニター画面に映像が表示されません。
- ・駐車時異常録画が行われた場合は、電源オン時に音声ガイダンスとモニター表示でお知らせ します。
- ・駐車時異常録画の録画時間と解像度(録画画質)は変更できません。

# 録画画面のインジケーター



(録画画面ではカメラの映像は表示しません)

※ インジケーターの表示内容は、運用事業者の 設定により異なる場合があります。

- ① インカメラ接続表示 インカメラが接続されていることを認識した ときに 2 が表示されます。
- ② リアカメラ接続表示 リアカメラが接続されていることを認識した ときに③ が表示されます。
- ③ GPS受信強度
- ④ ユーザー名 運用業者が設定した文字が表示されます。
- ⑤ Bluetooth接続表示
- ⑥ SIMカード状態、または LTE電波強度 挿入されているSIMカードに何らかの問題が あるときに 図と表示されます。 このインジケーターが表示されたときは、ご購 入先の販売店にお問い合わせください。 通常はLTEの電波強度が表示されます。

⑦現在時刻

– お知らせ –

測位衛星の信号、またはデータ通信の時刻 データが正常に受信できるまでは正しい時 刻に設定されません。

- ⑧ ボタンガイド (スピーカー音量アップ)
- ⑨ ボタンガイド (MENU)
- ⑩ ボタンガイド (スピーカー音量ダウン)
- イベント記録の残り時間 イベント記録の残り時間を表示します。

- お知らせ ―

録画画面ではカメラの映像は表示しません。 カメラの映像を確認したいときは、メニュー から<システム基本設定>⇒<映像確認> を選択してください。

# 再生する

## ファイルを再生する

録画ファイルを選択して再生します。

1. [MENU/OK] ボタンを押す MENUを表示します。



 [▲]/[▼] ボタンを操作して<動画再生>を選 択し[MENU/OK] ボタンを押す

9	動画重生	MENU	
	システム基本設定		, o
Ţ			-

 [▲]/[▼] ボタンを操作して再生したいカメラのフ ォルダを選択し[MENU/OK] ボタンを押す 選択したフォルダ内にある最新のファイルまた はグループの一覧が表示されます。



 [▲]/[▼] ボタンを操作して再生したいファイ ル、グループを選択し[MENU/OK] ボタンを 押す

選択したファイル、グループの再生が始まります。

選択したグループの ファイル保存数



選択したグループの 録画開始時間 — 録画終了時間

お知らせ ―

- 常時録画フォルダは、同じ日付のファイルを 10ファイルごとにまとめて1グループとして 一覧表示します。
- ・ファイルは、録画した順に並びます。
- ・フォルダやファイルの選択、または動画再生 中は、録画が停止します。
- インカメラ(別売)で撮影した映像を再生したい場合は、日付の後ろに" \_2"の付いたファイル、グループを選択してください。
- ・リアカメラ(別売)で撮影した映像を再生した い場合は、日付の後ろに"\_3"の付いたファ イル、グループを選択してください。

# 動画再生画面のインジケーター



- 再生状態
- ② タイムカウンター/再生プログレスバー
- ③ 録画時間
- ④ 再生音量アイコン
- ⑤ ボタンガイド

再生時(ファイル送り/早送り)

- ・ 押し続けると早送りになります。
- 一時停止時(コマ送り/スロー再生)
- 押し続けるとスロー再生になります。
- ⑥ ボタンガイド
  - 再生時(一時停止/再生音量変更)
  - ・ 押し続けると再生音量が変更されます。
     一時停止(再生/手動ファイルアップロード)
  - 一時停止(冉生/于動ノアイルアッフロート)
  - ・ 押し続けて離すと手動でファイルをサーバ
     ーに送信出来ます。

⑦ ボタンガイド

再生時 (ファイルの先頭に戻る/早戻し)

- 再生開始直後に押したときは、前のファイル に戻ります。
- ・ 押し続けると早戻しになります。
- 一時停止時 (コマ戻し/逆スロー再生)
- ・ 押し続けると逆スロー再生になります。
- ボタンガイド(戻る) 再生インデックス画面に戻ります。
- ⑨ 情報スタンプ記録の字幕表示
- 10 ファイル日時
- フォルダ種別
   常時録画、イベント記録、駐車時異常録画の フォルダ種別をアイコンで表示します。
- 12 動画再生中のファイル番号 / 総ファイル数
  - (例) 0065/0171の場合 フォルダの中に総ファイル数が171個 あり、その中の65番目のファイルを再 生しています。

# ファイルを手動でサーバーに送信する

常時録画、イベント記録、手動録画、駐車時異常録 画のファイルは、手動でサーバーに送信すること ができます。

1. 本機内の送信したいファイルを再生する 常時録画、イベント記録、手動録画、駐車時異 常緑画のフォルダから、サーバーに送信したい ファイルを再生します。

### 5. [MENU/OK] ボタンを押して終了する





#### 2. [MENU/OK] ボタンを押して一時停止にする

3. [MENU/OK] ボタンを押し続ける



- (1 秒以上)
- 4. [▲]/[▼] ボタンを操作して<はい>を選択 し[MENU/OK] ボタンを押す



ファイルの送信が開始されます。

# お知らせ

- ・「送信中」の画面を表示中に、「MENU/OK1ボ タンを押すと送信を中止することができます。
- ・再生一時停止した位置が再生開始から10秒 以内のときは、再生したファイルと前のファイ ルをサーバーへ送信します。
- ・再生一時停止した位置が再生開始から10秒 を越えて50秒未満のときは、再生したファイ ルのみサーバーへ送信します。
- ・再生一時停止した位置が再生開始から50秒 経過以降のときは、再生したファイルと後ろの ファイルをサーバーへ送信します。
- ・再生したファイルが1分に満たないときは、再生 したファイルと連続している前のファイル、連続 している前のファイルが無ければ再生したファ イルのみをサーバーに送信します。

# 設定を変更する

## MENUで操作する

MENUから各種基本設定ができます。 ※走行中はMENUの操作はできません。

## MENU

動画再生		
常時録画		フォルダを選択して目的のファイルを再生します。
イベント記録	microSDカードに 再生可能ファイル がない場合は 遅択できません。	(→ P.39)
イベント静止画		また、動画再生中には、ファイルを手動でサーバーに 送信できます。(→ P 4 1)
駐車時異常録画		

\*初期設定

システム基本設定	
映像確認	フロントカメラのリアルタイム映像を液晶画面で確認できます。
映像確認(インカメラ)	インカメラのリアルタイム映像を液晶画面で確認できます。 ※ インカメラ接続時に表示されます。
映像確認(リアカメラ)	リアカメラのリアルタイム映像を液晶画面で確認できます。 ※ リアカメラ接続時に表示されます。
モニター明るさ	11段階 液晶画面の表示の明るさを設定します。
セットアップ	本機の設置に関する設定を順番に実行します。
車両タイプ	軽自動車/軽自動車(ハイルーフ)/乗用車*/乗用車(ハイルーフ)/トラ ック(2t)/トラック(4t)/トラック(10t) ご使用の車に最も近い車両タイプを設定します。
検出範囲	運転支援機能を使用する前に水平線やボンネットの先端位置を調整 します。(→ P.29)
取付位置	左/中央*/右 本機を取り付けた水平方向の位置を設定します。(→ P.27)
設置ツール	水準器 本機の傾きを確認できます。
	衛星受信状態 測位衛星の受信強度画面を表示します。
設定初期化	本機の設定を初期状態に戻します。 実行すると再起動してセットアップ画面を表示します。表示に従って 設定を行ってください。

#### \*初期設定

システム基本設定	
SDカード情報	microSDカードの情報画面を表示します。 表示例(16GBの場合)
	SDカード情報 各フォルダのファイル数(現在/最大) 世 252/313 世 41/188 図 117/-60 世 0/:30
SDカード初期化	microSDカードを初期化して、すべてのファイルを消去します。
システム更新	本機のファームウェアを更新します。
システム情報	システムバージョン 本機のファームウェアのバージョンを表示します。
	SIM情報 本機で使用しているSIMカードの情報を表示します。
	オープンソースライセンス 本機で使用しているオープンソースソフトウェアのライセンスを表示 します。
	認証情報 認証情報を表示します。

# パソコンで再生する

本機から取り出したmicroSDカードをmicroSD カード変換アダプタに装着して、記録したファルを パソコンで読み取ることができます。

- ・保存するファイルを選んで、パソコンのフォルダ にコピーしてください。
- ・本機の動画ファイルの拡張子「MP4」の MPEG-4形式で、一般的な動画再生ソフトで 再生が可能です。
   ※すべてのパソコン環境での正常な再生を 保証するものではありません。
- ・パソコンでファイルを削除や書き換えを行った microSDカードをそのまま使用すると、本機が 正常に動作しないことがあります。誤ってファイ ルを操作した場合は、本機でフォーマットをして からお使いください。

## ファイル/フォルダ構成

microSDカードに録画または記録したファイルは、 項目ごとのフォルダに保存されます。ファイル名は 録画または記録された年月日と時間で自動的に 付けられます。

#### お知らせ -

- microSDカード内にあるファイルをパソコン などで変更または削除しないでください。本機で 正しくファイルが再生できなくなることがあります。
- ・正しい時刻が取得できていないときは、録画または記録された年月日と時間とは異なるファイル名になり、ファイル名の最後に
   \* UNKNOWN\* が付きます。

ルートフォルダ



#### ファイル名表記について

- ・ドライブレコーダーの映像ファイル YYMMDDhhmmss.MP4 または.JPG 年月日時分秒
- ・インカメラ(別売)の映像ファイル 日時の後ろに"\_2"が付いています。
- ・リアカメラ(別売)の映像ファイル 日付の後ろに"\_3"が付いています。

### - お知らせ

- ・手動録画は、「EVENT]フォルダの中にある 「MANUAL」フォルダに保存されています。
- 一部のフォルダでは、上記のフォルダの下層 に分類別のフォルダが作成される場合があり ます。
- ・上記以外のフォルダが表示される場合があり ますが、動画、静止画、位置情報等には関係 ありません。

# 故障かな?と思ったら

#### 次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。 解決方法が見つからないときは、お問い合わせ窓口まで、ご連絡ください。

症状	原因 / 対処方法
電源がオンにならない。	<ul> <li>車両のアクセサリーツケットの電源が入っていない。</li> <li>車両のアクセサリー電源(ACC)スイッチをオン、またはエンジンをかけてください。</li> <li>ソケット用ケーブル(または内部配線用ケーブル)のヒューズが切れている。</li> <li>車両のアクセサリー電源(ACC)スイッチをオン、またはエンジンをオンしてもDCアダブタのLEDが点灯しないときは、エンジンをオンしてもDCアダブタのLEDが点灯しないときは、エンジンをオフにして、お問い合わせ窓口までご連絡ください。</li> <li>ケーブルの差し込みが不十分などで、電源が供給されていない。</li> <li>以下の差し込みが十分にできているか確認してください。</li> <li>電源ブラグのアクセサリーソケットへの差し込み ソケット用ケーブル(または内部配線ケーブル)のDCアダブタへの差し込み DCアダブタケーブルのDCアダブタへの差し込み</li> <li>DCアダブタケーブルの本機への差し込み</li> </ul>
・録画できない。 ・ ❶ □□ が画面に表示されている。	<ul> <li>●microSDカードが入っていない。</li> <li>●8GB ~256GB 以外のmicroSDカードを挿入した。</li> <li>●SDHC、SDXC規格に準拠していないmicroSDカードを挿入した。</li> <li>●microSDカードが初期化されていない。</li> <li>本機で使用可能なmicroSDカードをmicroSDカードスロットに 挿入してください。(→ P.31)</li> <li>・必要に応じてmicroSDカードを本機で初期化してください。(→ P.34)</li> <li>●本機内部の温度が高温になっている。</li> <li>・車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる 状態になります。</li> </ul>
モニター画面に映像が出ない。	●録画中 - 録画中はモニター画面に映像は出ません。 - カメラのリアルタイム映像を確認するときは、メニューから <シ ステム設定>→<映像確認>を実行してください。(→ P.42)
エンジンを切っていないのに 電源がオフになった。	<ul> <li>●本機の温度上昇により安全のため自動的に電源がオフになった。</li> <li>- 車内の温度を下げてください。保護回路が解除されて電源が入る 状態になります。</li> </ul>

症状	原因 / 対処方法
🖦 が画面に表示されている。	<ul> <li>●何らかの原因で、SIMカードが認識できない。</li> <li>-「本機の電源のオン/オフについて」を参照して、本機の電源をオフ にして、お問い合わせ窓口までご連絡ください。(→ P.30)</li> </ul>
DCアダプタのLEDが赤点滅して いる。	<ul> <li>●内蔵電池の異常です。</li> <li>         直ちに使用を中止し、電源をオフにするために、安全に注意して次の 作業を行ってください。         - 車のエンジンをオフにする     </li> <li>- DCアダプタケーブルを本機から抜く</li> <li>- ソケット用ケーブルの電源プラグをアクセサリーソケットから抜く</li> <li>- ソケット用ケーブル(または内部配線ケーブル)とDCアダプタケーブルをDCアダプタから抜く</li> <li>DCアダプタの修理が必要となりますので、お問い合わせ窓口まで ご連絡ください。</li> </ul>

## 表示メッセージと音声ガイド

次のメッセージを表示したときは、一覧に従って対処してください。 ・) マークのあるメッセージは、音声でも案内されます。

メッセージ	原因 / 対処方法
SDカードが挿入されていません ◀)	<ul> <li>●microSDカードスロットにmicroSDカードが未挿入の状態で電源を オンにした。</li> <li>「本機で使用するmicroSDカードについて」を参照して、本機で使用 可能なmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してくだ さい。(→ P.31)</li> </ul>
SDカードにアクセスできません ◀)	<ul> <li>microSDカード上のファイルが認識できない。</li> <li>本機の電源を入れ直してください。</li> <li>DCアダブタケーブルからDCアダブタケーブルを抜いて、本機の 電源をオフにしてから、microSDカードを入れ直してください。</li> <li>microSDカードの端子の汚れを取り除いてください。</li> <li>認識できないmicroSDカードが挿入されている。</li> <li>「本機で使用するmicroSDカードについて」を参照して、本機で使用 可能なmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してくだ さい。(→ P.31)</li> </ul>
非対応のSDカードです ◀>	<ul> <li>●8GB未満または256GBを超える容量のmicroSDカードが挿入されている。</li> <li>「本機で使用するmicroSDカードについて」を参照して、本機で使用可能なmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。(→ P.31)</li> </ul>

録画を中止しました ◀>	<ul> <li>microSDカードの不良により、録画ができなくなった。</li> <li>何らかの不具合が発生して録画が中止された。</li> <li>スピードクラスが適合しないmicroSDカードを使用し、録画が中断した。</li> <li>microSDカードを挿入し直してください。</li> <li>新しいmicroSDカードに交換してください。(→ P.31)</li> </ul>
高温のためモニター画面を消灯 します ●>	<ul> <li>●本機の温度上昇によって機器が故障しないようにモニター画面を 消灯します。モニター画面消灯中も録画は継続しています。</li> <li>- 車内の温度を下げてください。保護回路が解除されモニター画面 が点灯します。</li> </ul>
高温のため録画を中止しました ◀ን	<ul> <li>●本機の温度上昇により録画ができなかった。</li> <li>車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる 状態になります。</li> </ul>
システムエラーが発生しました ◀>	<ul> <li>●何らかの原因で、正常な動作ができなくなった。</li> <li>本機の電源を入れ直して、再起動してください。</li> <li>「本機の電源のオン/オフについて」を参照して、本機の電源をオフ にして、お問い合わせ窓口までご連絡ください。(→ P.30)</li> </ul>
SIMカードエラーです 📣	<ul> <li>●何らかの原因で、SIMカードが認識できない。</li> <li>-「本機の電源のオン/オフについて」を参照して、本機の電源をオフ にして、お問い合わせ窓口までご連絡ください。(→ P.30)</li> </ul>
インカメラが接続されていません ◆) ※ EXT. CAM端子1にインカメラ (別売)か接続されている場合のみ	<ul> <li>何らかの原因で、電源起動時に接続されていたインカメラの接続が 外れた。</li> <li>エンジンをオフにして、「本機の電源のオン/オフについて」を参照 して本機の電源をオフにしてから、インカメラの接続ケーブルに傷</li> <li>・断線がないかを確認してください。さらに、接続ケーブルのコネク タが本機に確実に挿入されていることを確認し、本機の電源を入れ 直してください。(→ P.30)</li> <li>接続ケーブルやコネクタに異常が見られた場合は、お問い合わせ 窓口までご連絡ください。。</li> </ul>
リアカメラが接続されていません ◀) ※ EXT. CAM端子2にリアカメラ (別売)が接続されている場合のみ	<ul> <li>●何らかの原因で、電源起動時に接続されていたリアカメラの接続が 外れた。</li> <li>エンジンをオフにして、「本機の電源のオン/オフについて」を参照 して本機の電源をオフにしてから、リアカメラの接続ケーブルに傷</li> <li>・断線がないかを確認してください。さらに、接続ケーブルのコネク タが本機に確実に挿入されていることを確認し、本機の電源を入れ 直してください。(→ P.30)</li> <li>接続ケーブルやコネクタに異常が見られた場合は、お問い合わせ 窓口までご連絡ください。。</li> </ul>

付録

#### 運転支援機能について

- ・運転支援機能は、ドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。また、すべての危険を警告するものではありません。
- ・運転時は交通ルールを守り、前方車との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキをかけるなど安全運転に努めてください。また、本機を取扱説明書にしたがい正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 車線逸脱アラートはウィンカーと連動しないため、本機の仕様上、道路で車線を変更するときにも警告音が鳴ります。
- ・以下のような場合は、運転支援機能が正しく動作しない場合があります。
- トンネルや高層ビル街など測位衛星信号が正し く受信できない場所。
- 舗装の劣化や降雨時の反射などにより車が正し く認識できない場合。
- 前方車両の形状や塗装色、光の加減などによっ て車両と認識できない場合。
- 天候(雨・雪・濃霧など)、時間帯(朝方・夕方・夜間 など)、逆光、交通状況(渋滞・歩行者など)による 変化。
- ダッシュボードに物などが置かれていると、フロントガラスに映り込み正しく動作しないことがあります。ダッシュボードに物などを置かないでください。

#### モニター画面について

- ・ 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障 の原因になります。
- ・ 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。

- 極端に高温または低温になると、表示の動きが 遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることが あります。これは液晶画面の特性によるもので、 故障ではありません。車内が常温に戻れば回復し ます。
- ・ 画面に小さな点が出ることがあります。これは液 晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、画面を見る角度によって は表示が見づらいことがありますが、故障ではあ りません。

## 測位衛星(GPS、GLONASS(グロナス)、 みちびき)の受信について

- 本機の電源がオンになると測位を始めます。
   衛星の測位状況によっては、測位が完了するまで、5分程度かかる場合があります。
- ・衛星信号は、固体物質(ガラスを除く)を通過する ことができません。トンネルや建物の中にいる場 合、測位は使用できません。信号の受信は、悪天 候や密集した頭上の障害物(たとえば、樹木、トン ネル、高架橋または高層ビル)などの状況の影響 を受ける可能性があります。衛星信号が正しく受 信できないときは速度や位置情報などが正しく 表示されません。
- ・測位データは、参考値です。

#### LTE通信について

- ・本機は、LTE方式に対応しています。
- 本機は無線を使用しているため、トンネルや地下、建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリア外ではサーバーとの通信が出来ない場合があります。

### 商標、ソフトウェアに関する重要な お知らせ

- microSDXC、およびmicroSDXCロゴは SD-3CLLCの商標です。
- ・microSDHCはSD-3CLLCの商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth<sup>®</sup>とそのロゴマークは、
   Bluetooth SIG, Inc.の登録商標で、株式会社
   JVCケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの 所有者に帰属します。
- 本製品は AVC Patent Portfolio License に 基づき、以下の用途にのみライセンスされてい ます。
- 消費者が個人的かつ非営利目的でMPEG-4 AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC Video)を記録する場合
- 2) AVC Video(消費者が個人的に非営利目的で 記録したもの、またはMPEG LA よりライセン スを取得したプロバイダが記録したもの)を再 生する場合

詳細については、MPEG LA, LLC. のホームペー ジをご参照ください。

http://www.mpegla.com/

# 主な仕様

## ■ 本体

動作温度範囲	-20°C ~ +60°C
外形寸法(W×H×D)	約 114.5 × 約 76.0 × 約 39.5 mm (突起部は含まず)
本体質量(重さ)	約 240 g (microSDカード、取付ブラケット、ケーブル含まず) (取付ブラケット取付時の質量 : 約 270 g)
電源電圧	13V (ACC-ON中) 11V (駐車監視中)
消費電流(最大)	1.1A (2.4A)
加速度センサー	内蔵(-8G~ +8G)
測位衛星アンテナ	内蔵 (GPS対応、GLONASS(グロナス)対応、みちびき対応)
記録メディア	microSDXC/SDHC カード 8GB ~ 256GB 対応、Class 10( ctass⑥ )推奨、V30以上推奨

### ■ 映像仕様

画面サイズ	3.0 型 フルカラーTFT 液晶
映像素子	1/3 型 カラーCMOS
有効画素数	約 400 万pixel
最大記録画角	水平 : 約 145 度 × 垂直 : 約 76 度
レンズ	広角、F 値:2.0
フレームレート	27fps
記録解像度	1920 × 1080
録画フォーマット(動画)	MP4(映像:H.264 音声:AAC)
録画フォーマット(静止画)	JPEG 準拠 (最大 1920 × 1080)
HDR	ON 固定

## ■ DCアダプタ

外形寸法(W×H×D)	約 102 × 約 71 × 約 41 mm(面ファスナーおよび突起物を含まず)
本体質量(重さ)	約 273 g(ケーブル含まず)
電源電圧	DC 12-24V
出力電圧	13V (ACC-ON中) 11V (駐車監視中)

・ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更になる場合があります。

・ 本書に描かれているイラストは、わかりやすくするために誇張・省略があります。

# ソフトウェアに関する重要なお知らせ

#### 本製品のソフトウェアライセンスに ついて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立 したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々 のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに JVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在しま す。

本製品は、JVCケンウッドおよび第三者が規定したソフトウェア使用許諾契約に基づくソフトウェア コンポーネント(以下、「許諾ソフトウェア」)を使用 しております。

許諾ソフトウェアの中には、フリーソフトウェア に該当するものがあり、GNU General Public LicenseまたはLesser General Public License(以下、「GPL/LGPL」)のライセンスが適 用される結果、実行可能な形式のソフトウェアコン ポーネントを配布する際に、当該コンポーネントの ソースコードの入手を可能にすることが求められ ています。当該ソースコードの頒布に関しては、以 下のホームページをご覧いただくようお願い致し ます。

#### ホームページアドレス

https://www3.jvckenwood.com/download/gpl/

なお、ソースコードの内容等についてのご質問は お答えしかねますので、あらかじめご了承ください。 「GPL/LGPL」の適用を受けない許諾ソフトウェ アについては、ソースコード提供の対象とはなり ませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェ アコンポーネントは無償でお客さまに使用許諾さ れますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェ アコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるか を問わず一切ありません。

適用法令の定め、または書面による合意がある場 合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフ トウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る 者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用した こと、または使用できないことに起因する一切の 損害についてなんらの責任も負いません。 当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵 守いただかなければならない事項等の詳細は、各 [GPL/LGPL]をお読みください。 本製品に組み込まれた[GPL/LGPL]の対象とな るソフトウェアコンポーネントをお客さま自身でご 利用いただく場合は、対応するライセンスをよく 読んでから、ご利用くださるようお願い致します。 なお、各ライセンスはJVCケンウッド以外の第三 者による規定のため、原文(英文)を本製品のディス プレイ内で表示します。

1	ドライ	ブレコー	-ダー	の電源を入れ	る
---	-----	------	-----	--------	---

- [MENU/OK] ボタンを押す
- ③ <MENU> ⇒ <システム基本設定> ⇒ <システム情報> ⇒ <オープンソースライ センス>と選択する

# インカメラ(別売)の接続について

サブカメラ(STZ-CAM15BJ/CAM40BJ)の取扱説明書は、ドライブレコーダー(STZ-DR05 または STZ-DR06)と組み合わせて使用する場合の説明が記載されています。

本ドライブレコーダー(STZ-DR2OJ)と組み合わてインカメラとして使用する場合は、STZ-CAM15BJ/ CAM40BJに付属している「サブカメラ取扱説明書」の

- ・専用ドライブレコーダーとの接続
- ・ケーブルの配線
- ・最終確認と調整
- ・本機で撮影した映像の再生
- ・故障かな?と思ったら

の記載内容については、以下の説明をご覧ください。

# 専用ドライブレコーダーとの接続

## ▲ 注意

- ・インカメラの位置を調節、確認する場合は二人で作業を行うことをおすすめします。
- ・一人は運転席に座って運転姿勢をとってください。
- ・もうひとりの方がフロントガラスに固定されたドライブレコーダーの画像を見ながらイン カメラの取付位置と角度を決めてください。

 接続ケーブルをドライブレコーダーに接続 接続ケーブルをドライブレコーダー上面の EXT. CAM 1 端子に接続します。 カバー(蓋)は取り外して接続してください。



2 エンジンをオンにしてドライブレコーダーを 起動

インカメラを接続して、ドライブレコーダー の電源をオンにします。 インカメラの接続をドライブレコーダーが認識 すると、ドライブレコーダーの画面左上に[2] が点灯します。点灯しない時は、接続ケーブル の差し込みを確認してください。



\_ <u> </u>注意

・ケーブルの差し込みを確認するときは、ケーブル部分を持って引っ張らず、ケーブルの コネクタ端子を持って行ってください。

#### 3 インカメラの映像を確認

ドライブレコーダーのメニューから<シス テム基本設定> ⇒ <映像確認(インカメ ラ)>を選択して、インカメラの映像を確認 します。



#### 赤外線 LED

4 インカメラ映像の向きを設定 ※インカメラをフロントガラスに取り付け るときは必要ありません。

インカメラをダッシュボードに取り付けた ときは映像を 180°回転させてください。

ドライブレコーダーのメニューから<シス テム基本設定> ⇒ <映像確認(インカメ ラ)> ⇒ <映像回転>を選択して、<はい> を押します。 自動的にドライブレコーダーが再起動します。

5 赤外線 LED の設定 赤外線 LED は点灯状態(表示: LED ON) で使用します。 映像右上の表示が LED OFF となっている

場合は、以下の手順で赤外線 LED の設定 を変更してください。

ドライブレコーダーのメニューから<シス テム基本設定> ⇒ <映像確認(インカメ ラ)> ⇒ < 赤外線 LED> を選択して、 <はい>を押します。 自動的にドライブレコーダーが再起動します。

#### **6**取付位置を決定

インカメラを仮固定し、ドライブレコーダー の映像を見ながらドライバーの顔の一部が画 面からはみ出したり、ハンドルやハンドルを 握った手などの遮蔽物に遮られることがな いようにインカメラの位置を調整し、取付位 置を決定します。



映像回転



LED ON (赤外線 LED 点灯)







# ケーブルの配線

⚠ 注意

- ・接続作業を行うときは、はじめにエンジンがオフになっていることを確認してください。
- ・ケーブルの配線と固定は下記の点に注意してください。
  - イラストは例として乗用車を用いています。トラックやバスに取り付ける場合も、配線手順 や位置関係は同様です。
  - 例として、インカメラを左前方のダッシュボード上に取り付けています。車両に応じて、適切な位置を選定してください。
  - ケーブルは運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して助手席側を通して固定してください。
  - フロントピラーカバーの外し方などは車両販売店にお問い合わせください。
  - 付属のケーブルクリップを使用する場合、フロントガラスには直接貼り付けないでください。
  - ケーブルクリップで固定できないところは、市販のソフトテープなどでまとめてください。
  - ケーブルクリップは取付場所の汚れや脂分を付属の専用クリーナーまたは市販のクリーニン グクロスにエタノールをしみこませたものできれいに拭き取り、乾いたことを確認してから 固定してください。

インカメラの接続ケーブルは、運転の妨げにならないように以下の手順に沿って、ドライブレコー ダーと接続してください。

ドライブレコーダーの DC アダプタケーブルを取付ブラケットに配線してから、下図のように インカメラ接続ケーブルを取付ブラケットに配線してください



2 ドライブレコーダー側に接続したインカメラ 接続ケーブルは取付ブラケットに固定し、ド ライブレコーダーの DC アダプタケーブル と一緒にフロントガラス上部の天井に沿って 助手席側を通して固定してください



3 インカメラ側の接続ケーブルはダッシュボー ドとフロントガラスの境界に沿って助手席側 を通して固定してください

この時、ケーブルクリップを利用してケーブ ルを固定してください。 4 フロントピラーを外すことができる場合は、 ピラー内部にケーブルを固定してください。 ピラーを外すことが出来ない場合は、ケーブ ルクリップでピラーに沿うなどしてケーブル を固定してください

- 
<u>
注意</u> フロントピラーにエアバッグが装着されている 場合は、必ず車両販売店に作業上の注意事項を 確認してください。



5 ケーブルが長すぎて余った場合は、グローブボックスの裏やフロアマットの下の安全で邪魔にならない場所にまとめて固定してください

# 最終確認と調整

- 1 エンジンをオンにしてドライブレコーダーを起動します インカメラの接続をドライブレコーダーが認識すると、ドライブレコーダーの画面左上に2 が 点灯します。点灯しない時は、接続ケーブルの差し込みを確認してください。
- 2 インカメラの映像を確認します

ドライブレコーダーのメニューから<システム基本設定>⇒<映像確認(インカメラ)>と 選択して、インカメラの映像を確認します。

#### 3 インカメラの取付角度を調整します

インカメラの角度調整ネジを一度緩め、実際の画像を見ながらインカメラの角度を調整し、角度 調整ネジを締め直して固定します。

このとき、インカメラの取付ブラケットをしっかり押さえて、両面テープの接着面に力が加わら ないように十分注意してください。使用中にインカメラが脱落する原因になります。

ドライバーの顔の一部が画面からはみ出さないように余裕を持たせてください。 また、顔全体が映るようにハンドルやハンドルを握った手などの遮蔽物に遮られていないことを 確認してください。

4 異常がないことを確認できたらエンジンをオフにしてください

# インカメラで撮影した映像の再生

インカメラで撮影した映像は、ドライブレコーダーやパソコンで再生することができます。 操作方法は、「再生する」(→ P.39)や「パソコンで再生する」(→ P.44)をご確認ください。 なお、インカメラで撮影した映像のファイル名は、同時に録画したドライブレコーダーの映像ファイル と同じ日時の後ろに"\_2"が付いています。

例) 20230127125608\_2.MP4

# 故障かな?と思ったら (インカメラ)

症状	原因 / 対処
ドライブレコーダーのモニターにインカメラ の映像が出ない。	<ul> <li>・録画中はモニターにインカメラの映像が出ません。</li> <li>・リアルタイム映像を確認するときは、車を安全な場所に止め、ドライブレコーダーのメニューから&lt;システム基本設定&gt;⇒&lt;映像確認(インカメラ)&gt;を選択してください。</li> </ul>
インカメラで撮影した映像が保存されて いない。	<ul> <li>・接続ケーブルが正しく接続されていない。</li> <li>・インカメラの接続ケーブルの差し込みを確認してください。</li> </ul>
インカメラで撮影した画像が赤みががって いる。	<ul> <li>インカメラは赤外線を使用しているため、赤みがかった 画像になります。故障ではありません。</li> </ul>

# リアカメラ(別売)の接続について

サブカメラ(STZ-CAM80G)の取扱説明書は、ドライブレコーダー(STZ-DR05 または STZ-DR06)と 組み合わせて使用する場合の説明が記載されています。

本ドライブレコーダー(STZ-DR2OJ)と組み合わてリアカメラとして使用する場合は、STZ-CAM80Gに 付属している「サブカメラ取扱説明書」の

- ・接続のしかた
- ・本機で撮影した映像の再生
- ・故障かな?と思ったら

の記載内容については、以下の説明をご覧ください。

# 接続のしかた

▲ 注意 接続作業を行うときは、はじめにエンジンがオフになったいることを確認して ください。

リアガラスに取り付けたリアカメラから引き出された接続ケーブルは、運転操作の 妨げにならないようにドライブレコーダーに接続します。

■ ケーブルの引き回し例



ご注意

ケーブル類の配線にあたっては、リアカメラ取扱説明書の「使用上のご注意」の中に 記載されている「取り付けについて」をよくお読みのうえ配線してください。また、 下記の点にも注意してください。

フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。

## 1 接続ケーブルをドライブレコーダーに接続する

接続ケーブルをドライブレコーダー上面のEXT. CAM 2 端子に接続します。 カバー(蓋)は取り外して接続してください。



## 2 接続ケーブルを取付ブラケットに配線する

ドライブレコーダーのDCアダプタケーブルを取付ブラケットに配線してから、下図のように、リアカメラ接続ケーブルを取付ブラケットに配線してください。



## 3 エンジンをオンにしてドライブレコーダーを起動する

リアカメラの接続をドライブレコーダーが認識すると、ドライブレコーダーの画面 左上に [3]が点灯します。点灯しないときは接続ケーブルの差し込みを確認してください。





4 リアカメラの映像を確認する

ドライブレコーダーのメニューから<システム基本設定>⇒<映像確認(リアカメラ) >と選択して、リアカメラの映像を確認します。

・映像の向きを設定する
 ・映像が上下反転している場合は、以下の手順により、映像を反転させてください。
 ドライブレコーダーのメニューから<システム基本設定>⇒<映像確認(リアカメ</li>
 ラ)>⇒<映像回転>を選択して、<はい>を押します。
 自動的にドライブレコーダーが再起動します。

・赤外線LEDを設定する
 リアカメラ使用時は赤外線LEDを使用しません。映像右上の表示がLED OFFとなっていれば、以下の手順は不要です。
 映像右上の表示がLED ON(赤外線LED 点灯)となっている場合は、以下の手順により、赤外線LEDをOFFにしてください。
 ドライブレコーダーのメニューから<システム基本設定>⇒<映像確認(リアカメラ)>⇒<赤外線LED>を選択して、<はい>を押します。
 自動的にドライブレコーダーのボ再起動します。



5 リアカメラの取付角度を再調整する

車が水平な場所に駐車していることを確認します。 実際の画像を見ながらリアカメラの角度を調整し、角度調整ネジを締め直して固定します。 地上と空の比率が、約5対5になることを推奨します。

6 エンジンをオフにする

# リアカメラで撮影した映像の再生

リアカメラで撮影した映像は、ドライブレコーダーやパソコンで再生することができます。 操作方法は、「再生する」(→ P.39)や「パソコンで再生する」(→ P.44)をご確認ください。 なお、リアカメラで撮影した映像のファイル名は、同時に録画したドライブレコーダーの映像 ファイルと同じ日時の後ろに"\_3"が付いています。

例) 20230127125608\_3.MP4

# 故障かな?と思ったら (リアカメラ)

症状	原因 / 対処
ドライブレコーダーのモニターに リアカメラの映像が出ない。	<ul> <li>・ドライブレコーダーが録画中のときはモニターにリアカメラの映像は出ません。</li> <li>✓ リアルタイム映像を確認するときは、車を安全な場所に止め、ドライブレコーダーのメニューから&lt;システム基本設定&gt;⇒&lt;映像確認(リアカメラ)&gt;を選択してください。</li> </ul>
リアカメラ撮影した映像が保存 されていない。	<ul> <li>・接続ケーブルが正しく接続されていない。</li> <li>✓ リアカメラの接続ケーブルの差し込みを確認してください。</li> </ul>

# カー I/F アダプタ(別売)の接続について

カー I/F アダプタ (STZ-IF05) の取扱説明書は、ドライブレコーダー (STZ-DR05 または STZ-DR06)と 組み合わせて使用する場合の説明が記載されています。

本ドライブレコーダー(STZ-DR2OJ)と組み合わて使用する場合は、カー I/F アダプタ取扱説明書の ・本体接続ケーブル取付方法

・故障かな?と思ったら

の記載内容については、以下の説明をご覧ください。

# 本体接続ケーブル取付方法

① ホルダー取付位置にある USB 端子カバーを手で持ち上げて開きます。 USB 端子カバーは、本機とつながっていて、取り外すことはできません。



② USB 端子カバーを下図のようにドライブレコーダーのカメラ側に裏返して、USB ホルダーを取り付けます。
 本機の USB ホルダー取付用ネジ穴の位置と USB ホルダーのネジの位置を合わせて、USB ホルダーを本機にセットします。
 (USB ホルダーは、STZ-DB20Jの付属品を使用してください)



 (③ 付属の専用(特殊ネジ)ドライバーを使って USB ホルダーのネジを締め、 USB ホルダーを本機に取り付けます。



 ④ カー I/F アダプタの本体接続ケーブルを本機の USB 端子に差し込み、 USB ホルダーのフックをツメの部分にひっかけてロックします。



※ USB ホルダーを取り外すときは USB ホルダーのフックを手前に持ち上げて、ツメのロックを解除してください。



⑤ カー I/F アダプタの本体接続ケーブルは、取付ブラケットのフックを とおさずに車両に配線してください。



# 故障かな?と思ったら(カー I/F アダプタ)

症状	原因 / 対処
ドライブレコーダーのモニターに	<ul> <li>・接続ケーブルが正しく接続されていない。</li> <li>         ✓ カー I/F アダプタおよびドライブレコーダーのケーブルの</li></ul>
エラーが表示される	差し込みを確認してください。

# アフターサービス

#### 修理に関するご相談は

修理などのアフターサービスについては、お問い合わせ窓口までご相談ください。

#### 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(→ P.45)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、「本機の 電源のオン/オフについて」(→ P.30)を参照し、本機の電源をオフにして、お問い合わせ窓口まで ご連絡ください。

## - ① 注意 -

修理の際に、お客さまが登録・設定したメモリー内容が、すべて消去されることがあります。 あらかじめご了承ください。

# 商品に関するお問い合わせ窓口

ご購入された販売店にお問い合わせください。